

## 交換留学帰国報告書

記入 | 9年30月

所属 &amp; 学年 | 環境学研究科都市環境学専攻 修士2年

卒業予定 | 2025年3月

留学先大学	リーズ大学
留学先国	イギリス
留学期間	約12ヶ月 (修士2年次に留学)
留学開始-終了	2023年9月27日 - 2024年9月8日

## A. 留学に至った経緯や留学準備について

- ① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

デザインの学部を持っており、その設備も充実していたから。  
英語が公用語であるため。

- ② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

違う国でデザインを学びたかったから。デザインはアプローチの仕方でも成果物が大きく変わる学問のため、違う視点を持ちたいと考えた。またその土地でしか見られないデザインや空間の特徴を観察したかったから。

- ③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
フランス	M1	大学施設の見学 (3週間)
アメリカ	高校2年	現地ワークショップに参加

- ④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのくらい前でしたか？

半年前

- ⑤ 海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

大学情報の集め方。及び候補大学(都市)の大まかな環境など。  
トビタテ留学ジャパン等の奨学金情報、応募サポートなど。

## B. 留学前の語学対策や単位などについて

- ① 留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

自学自習で半年ほど。オンライン講座を2ヶ月ほど受講。  
IELTSを2回受験

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

単位は前年度に取り切っていたので、単位互換は行わなかった。単位互換を考えていても、専門科目としては互換できないことが多いので、単位互換を考えるなら一年生時から、ある程度履修方法を考えないといけない。

**C. 授業や勉強について**

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えて下さい。

DESN2633 Colour: Art & Science  
週に一時間のレクチャー。テスト&レポートで採点。ディスカバリーモジュールとして他学部でも履修可。

FILM2202 Screening Italy  
通年。週に一時間のレクチャー+ディスカッション形式のセミナー。個人&グループレポートで採点。

PDES1145 Visualisation Techniques  
週に二時間の実践型レクチャー。2度のスケッチテストで採点。

PDES1185 context studies & ergonomics  
週に三時間のレクチャー。レポート+テストで採点。

PDES1365 Basic Elect for Product Design  
週に二時間のレクチャー。電気回路を組んでレポートする+テスト。

PDES1510 Design Studio 1  
通年。週に三~四時間の実践型レクチャー+制作セミナー。1タームごとに3つほどのプロジェクトをポートフォリオにまとめて提出。

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

次の授業のための予習や課題をきちんとやっておくこと。言語のハンディキャップがどうしてもあるため、少しでも予習をしていくと楽になる。特に専門用語。

③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

Design Studio は単純に作業量が多い上に、凝り性な性格のため、大変だった。数えきれないくらい徹夜した。

context studies & ergonomics は先生の講義に全く一貫性がなく、課題も、何を求めているのか分からないもので、現地学生を含め全員が困っていた。さらに私は他の講義との兼ね合いで毎週10分ほど遅れて参加せざるを得ず、その状況を伝えてはあったが、遅れて講義に行くたびに遅かったね、という意味での「Good afternoon（講義は午前中にも関わらず）」と嫌味を言われ、苦痛だった。やれることは全てやったが、評価をしてもらえず、単位を落とした。

**D. 大学生活について教えてください。**

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

セミナーには参加するが、ただ聞くだけのレクチャーはほとんどの人が出席せず、私を含めた、数人だけで講義を聞くことも少なくなかった。

Hands on 系の授業は皆積極的で、個性を見せる学生も多かった。

## ② ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

特に制作系の設備は充実しており、個人では手に入らない大型の制作機械が多くあった。しかし、講義やプロジェクトに関連する内容でしか利用できないため、利用の幅は制限された。

昨年度からスタートした Helix という施設は全学に対してオープンしたメーカーズスペースやスタジオを併設した学内施設で、この施設は自分の興味に応じて自由に活動が行え、頻繁に活用していた。

## ③ 留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

Society（サークル）やフレッシュャーズフェアに参加して、出会いの数を増やす。そのあとは、多くの人と出会を求めるより、仲のいい友人と時間を過ごすようにした。長期休暇に彼らの実家を訪れたのも親睦を深める良い機会になった。

## ④ 余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

現地の友人が実家に帰るタイミングで同行し、居候させてもらっていた。

ヨーロッパ圏内なら航空券が安いので、たくさん旅行もした。格安のホステルに泊まることも多かったため女性にはおすすめできないかも。

**E. 健康管理、保険、予防接種など**

## ① 健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

外食が高いので基本自炊していたが、おかげで寧ろ健康的な食事を摂れた。自分は適度に運動をしたいタイプなので、大学のプールに泳ぎに行ったり、バスケットボールの Society に参加したりしていた。

## ② 留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えて下さい。

イギリスは基本医療費が無料なので、心配はしていなかったが、通院しなくてはならないような病気にはかからなかった。

## ③ 留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

はい（種類：）

いいえ

**F. 住居、食事、マナーなどについて**

## ① 留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	(1) 人 六人でキッチンシェア

## ② 生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

全館空調で室内は暖かいので、室内外の気温差が大きく、体温調整は難しかった。現地学生は冬場でも T シャツを着ていてその上に厚手の上着を羽織っていた。

リーズは治安が悪くなかったため、そこまで不安はなかったが、荷物を置いてどこかに行かないようにだけは気をつけた

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

現地について三日間は何も買い物をしなくても生活できる準備。私はあえるだけパスタソースや味噌汁なんかを持って行って、すごく助けられた。

電子辞書、必要以上の文具は使わなかった。現地に行くまで、何が必要かわからないのは、すごく難しい。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

YouTube で街歩き Vlog を見るのが一番リアルな街の様子を掴みやすいかも。大学がある場所は街の中心じゃないこともあるので、現地に住んでいた経験のある人に話を聞く方が参考になることもある。

## G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

カード決済が増えるので、金銭感覚がバグってしまいがち。私は引き落とし先口座に多くのお金を入れず、今月はこのくらいの金額で生活しようという分だけ、他の口座からオンライン入金していた。

- ②奨学金は受給していましたか。

はい （奨学金名：トビタテ留学 JAPAN 支給額： 16 万円）  
いいえ

- ③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。\*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	22 万	今は中国系の会社だけロシア上空を飛べるので、最短ルートで行けるため、安いし早い。サービスは悪い。
旅行費	50 万	ヨーロッパ圏内の航空券は往復 3000 円〜くらいで出てることもあるが、空港までの往復、宿泊、旅行先での食費はかかるため、それなりの金額にはなる。
予防接種・ビザ代	7 万	現地の国民保険を含めるともう少し高かったかも。ビザ申請は年々高くなってらしい。
住居費	月 14 万	古くて汚くてシェアする人数も多い寮にすれば、もう少し安くはできるが、日本人は耐えられない人も多いと思う。安くても 10 万以上はするところが多い。
食費	3~4 万	自炊していれば、日本よりも安いくらい。外食は大体日本の 2~3 倍の値段。
雑費	10 万	キッチン用品や布団など、生活必需品を買い揃えると割と高つく。ティッシュやトイレットペーパーなんかもすごく高い。

## H. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

- 進学  
就職  
その他 ( )

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

就職後、一級建築士を取得し、建築だけにとらわれないデザイン職のあり方を探る

### I.留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

濃い一年だった。生活環境としては、日本がいかに素晴らしい国か実感する。ただ、家族の在り方や働き方、他者との関わり方で学ぶことは多くある。それは自分の裁量で変化させられることなので、積極的に今後の生活に取り入れていきたい。  
 今回の留学では現在名古屋大学で学んでいることとはフィールドの違う学問であったため、新たに得られた情報がたくさんあったし、スキルも増えたと実感している。今後のキャリアに直接結びつく重要な学びであった。

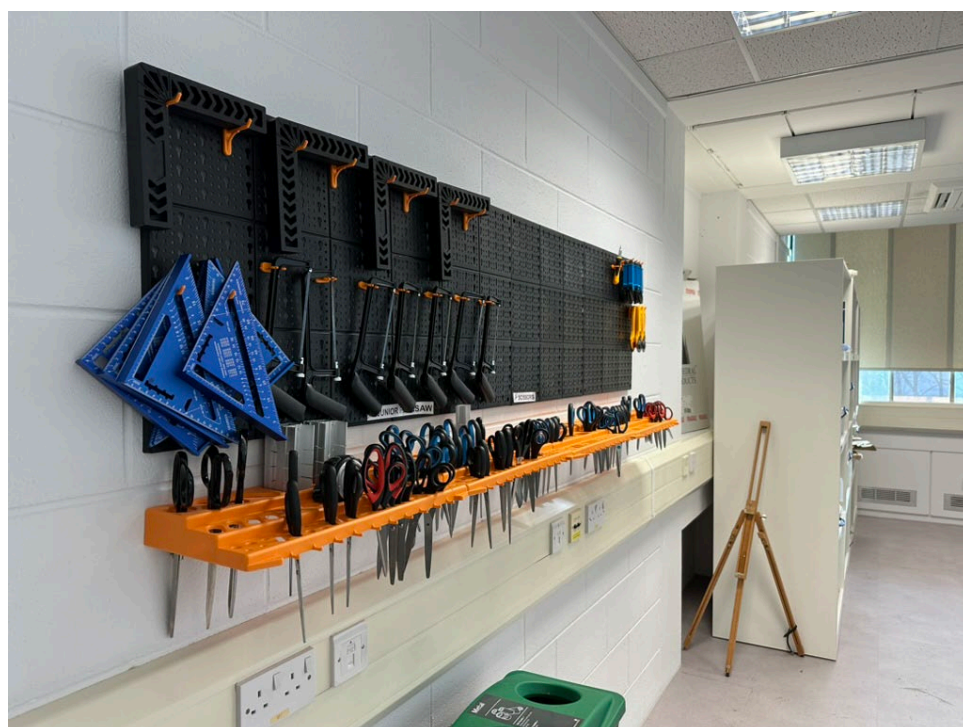
- ②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

新たなスキル、及びデザインアプローチを知った。それは今後のキャリア形成にも大きく影響していくと思う。自分が違うフィールドで何ができて、自分の強みが何なのか、それを認識できたことによって、今後の社会での戦い方をイメージするようになった。

- ③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

英語学習意外の何に意義があるのかよく見定めるべきだと思います。基本的に日本中どの大学で講義を聞いても、そこまで大きな内容の違いがあるわけでは無いのと同様に、海外に行っても、日本で学んでいる学問の講義を取っても、基本は同じです。そのため、強く「この国で、この大学でこれが学びたい」や「日本では学べないけどこの大学では行われている」などの動機がある方が、一年後に充実感を感じられるのでは無いかなと思います。

### ◆自由記述欄◆







よく通っていた Helix の設備の一部。始まったばかりの施設で利用者はまだ少なかったが、すごく充実しているのでおすすめ。自分の興味のあるコミュニティや場所にはどっぷり浸かると面白いです。